

授業科目		対象学科・専攻	年次	期別
保育原理 Principle of Childcare and Education		児童教育学科 幼児教育学専攻	1年次	後期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒業認定	担当教員	
講義	2	必修	中津 愛子	
概要				
保育の意義と目的、保育所保育指針の基本、保育の歴史を学び、現代社会における保育の現状と課題について認識を深める。				
到達目標				
(1) 保育の意義と目的、保育所保育指針における保育の基本を説明できる。 (2) 保育に関する法令と制度の基本を説明できる。 (3) 保育の思想と歴史の変遷を説明できる。 (4) 保育の現状と課題を認識したうえで、課題を解決に向けた自分の意見を述べるができる。				
授業内容とすすめ方				
1 保育の理念と概念 2 子どもの最善の利益と保育 3 子ども家庭福祉と保育、子ども家庭福祉の法体系における保育の位置づけ 4 保育に関する法令、保育の実施体系 5 子ども・子育て支援新制度、保育の社会的役割と責任 6 保育所保育指針における保育所保育の基本原則 7 保育における養護 8 保育所保育の目標 9 保育の内容 10 保育の環境・方法 11 保育の過程（計画・実践・記録・評価・改善）とその循環 12 諸外国の保育の思想と歴史 13 日本の保育の思想と歴史 14 諸外国の保育の現状 15 日本の保育の現状と課題				
テキストおよび 参考文献	テキスト：厚生労働省編「保育所保育指針 平成30年3月」フレーベル館 参考文献：森上史朗・大豆生田啓友 編「よくわかる保育原理」ミネルヴァ書房 ミネルヴァ書房編集部 監修「保育小六法」ミネルヴァ書房			
メッセージ な	保育現場の観察、行事への参加など、子どもと直接関わる機会を得る努力をして保育所の役割と現状について理解を深めるようにしてください。 保育士証：必修科目			

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1) 保育の意義と目的、保育所保育指針における保育の基本を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	定期試験 (知識・理解)	30%
(2) 保育に関する法令と制度の基本を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本的事項を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		15%
(3) 保育の思想と歴史の変遷を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、説明できる。	間違いはいくつかあるが、説明できる。	説明できていない。		15%
(4) 保育の現状と課題を認識したうえで、課題を解決に向けた自分の意見を述べるができる。	保育の現状と課題を正しく認識し、ほぼ完璧に自分の考えを述べている。	保育の現状と課題への認識の誤りや大きな論理的な問題もなく、自分の考えを述べている。	保育の現状と課題に対する認識の間違いがいくつかあり、誤字・脱字もあるが、最低限の自分の考えを述べている。	自分の考えを述べていない。	課題レポート (関心・意欲・思考力・判断力・表現力)	40%